

業界初の DFN パッケージ 1.8V、デュアルおよびクワッド・オペアンプ

2006 年 2 月 28 日、リニアテクノロジーは、小型 DFN パッケージで供給される、業界初の 1.8V デュアルおよびクワッド・オペアンプ LT6001 および LT6002 の販売を開始しました。

これらのマイクロパワー・デバイスはアンプ当たりの消費電流がわずか $13\mu\text{A}$ で、優れた性能を達成します。入力オフセット電圧は 25°C で $500\mu\text{V}$ (最大)、最大ドリフトは全温度範囲で $5\mu\text{V}/^\circ\text{C}$ です。入出力はレール・トゥ・レール動作を特長としています。

低電源電圧、低消費電流、優れた DC 仕様を小型 DFN パッケージで実現するこれらのデバイスは、ハンドヘルドおよびバッテリー駆動アプリケーションに最適です。

3mm × 3mm パッケージで供給されるデュアルの LT6001 はシャットダウン・ピンを搭載し、非動作時の消費電流を $1.5\mu\text{A}$ に低減することができるので、消費電力をさらに節減可能です。リニアテクノロジーの信号調整製品グループのジェネラル・マネージャ Erik Soule は、「LT600x ファミリーは高精度、低消費電力、高集積の同時実現に取り組んでいます。これらの要求は、携帯用の医療機器や産業用機器でますます求められています。」と述べています。

1000 個時の参考単価は、LT6001 が 156 円 (税込み) から、LT6002 が 248 円 (税込み) からです。

LT6001 と LT6002 の特長

- バッテリー駆動アプリケーションに最適
 - 低電源電圧: 1.8V 動作
 - 低消費電流: $16\mu\text{A}$ /アンプ (最大)
 - 小型パッケージ: DFN、MSOP、SSOP
 - $1.5\mu\text{A}$ (最大) のシャットダウン (LT6001DD)
- 低いオフセット電圧: $500\mu\text{V}$ (最大)
- レール・トゥ・レール入出力
- 1.8V および 5V 電源で完全規定
- 動作温度範囲: -40°C ~ 85°C
- 10 ピンおよび 16 ピン DFN、8 ピン MSOP および 16 ピン SSOP パッケージ

以上